

会議録

- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | 会議の名称 | 令和4年度第1回熊取町子ども読書活動推進連絡協議会 |
| 2 | 開催日時 | 令和4年5月16日(月) 10時30分～11時40分 |
| 3 | 開催場所 | 熊取町立熊取図書館2階ホール |
| 4 | 議題 | 案件1. 令和3年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び令和4年度熊取町子ども読書活動推進事業予定について |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |

7 審議会等の概要

- 案件1 令和3年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び令和4年度熊取町子ども読書活動推進事業予定について

【事務局からの説明】

- ・令和3年度の熊取町子ども読書活動推進事業の報告
 - ①令和4年3月に「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」を策定
 - ②学校図書館の情報化の成果として、令和4年度から学校図書館総合管理システムの導入が決定した。
 - ③東京大学と児童書の出版社であるポプラ社とが共同研究した「子どもと絵本・本に関する研究」の調査結果として「写真でみる公立図書館・図書室の乳幼児・保護者のためのスペース事例集」の中で、熊取図書館の乳幼児向けコーナーが掲載された。
- ・令和4年度の熊取町子ども読書活動推進事業予定
 - ①第4次計画の策定の際に行った小中学生のアンケート結果から、学校図書館を通じた十分な利用ができていない現状が見えてきたため、学齢期会議の場において、先生と学校図書館司書と共に、資料の選定や活用方法について検討する。
 - ②令和4年度からの学校図書館総合管理システムの導入に伴い、児童・生徒に配布されたクロームブックの活用など、子どもたちの情報活用能力を育成する方策を検討し、また、併せて学校図書館司書の研修を行っていく。
 - ③住民協働提案事業の一つとして、SNSを活用した情報の発信を行う。
 - ④住民協働提案事業「エンタメ KUMATORI」として、マジックやコミュニケーション

ンスキルを学ぶ講座やイベントを開催し、来館者数が少ない小中高校生に向けた取り組みを行う。

【委員からの主な意見等】

- ・学校図書館総合管理システムの導入により、子どもたちの読書傾向を知ることで、有効に使うことができれば。
- ・10年以上前とくらべると、子どもたちの読書環境は改善されている。子どもたちが気兼ねなく絵本を自由に選べて触れることができている。しかし、家庭を見ると、読み聞かせを熱心にされる方もいれば、全く絵本を買わないという家庭もある。
- ・絵本を小さい頃から触れることの大切さを感じている。学校によって読書環境の差やタブレットの活用に関しても温度差があるため、情報共有する必要がある。
- ・コロナ禍で従来の形で行えていないブックスタートやおはなしキャラバンも状況を見ながら検討していきたい。
- ・長年の懸案事項であった学校図書館の情報化に着手することができた。町全体のICT化の波に乗れたことが大きい。学校間の情報共有していけるよう、学校をサポートしていきたい。
- ・文字をキャッチすることが苦手な子や外国にルーツのある子どもに向けて、どのようにアプローチしていくのか、先生と図書館が連携して研修を行っていきたい。
- ・学習は基本的に対面で行わないとオンラインの学習では、自分で調べる機会が減っているように思う。
- ・公民館と町民会館の建替えて、1階はオープンスペースにし、若い人をターゲットにしたスペースを整備したいと考えている。

8	審議会の情報名称	名称	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
		根拠法令等	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会設置要綱
		設置期間	平成21年4月13日～
		所掌事項	子ども読書活動推進計画に関すること
		委員数	13人
9	担当課	図書館	